



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2013年8月30日から2033年8月25日まで	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	ベビーファンド	主として親投資信託「スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
組入株式制限	ベビーファンド	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。ただし、株式以外の資産への実質投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には、制限を設けません。ただし、株式以外の資産への投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時(8月25日、休業日の場合は翌営業日)における経費控除後の利子・配当収入および売買益(評価益を含みます)等の分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額の水準および市場動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。	

スパークス・少数精鋭・ 日本株ファンド

第11期 運用報告書(全体版)

(決算日 2024年8月26日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・少数精鋭・日本株ファンド』は、このたび、第11期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX (配当込み)		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
7期(2020年8月25日)	20,320	0	14.9	2,514.26	12.8	96.1	703
8期(2021年8月25日)	26,751	0	31.6	3,058.62	21.7	94.4	640
9期(2022年8月25日)	25,288	0	△ 5.5	3,198.85	4.6	97.1	560
10期(2023年8月25日)	28,814	0	13.9	3,768.45	17.8	94.2	603
11期(2024年8月26日)	32,352	0	12.3	4,526.79	20.1	96.2	600

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

(注4) 東証株価指数 (TOPIX) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。) の知的財産であり、J P XはTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

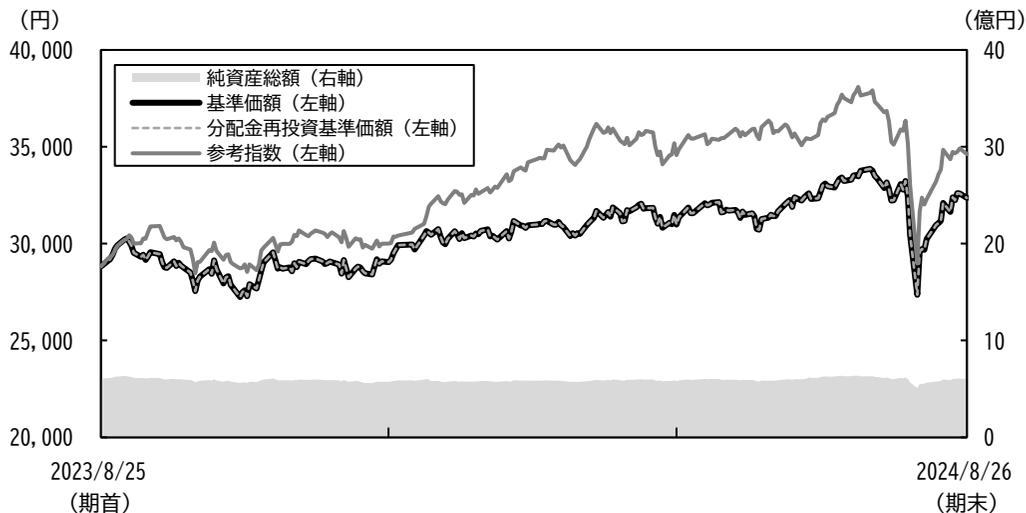
年月日	基準価額		TOPIX (配当込み)		株式組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2023年 8月25日	円 28,814	% -	3,768.45	% -	% 94.2
8月末	29,737	3.2	3,878.51	2.9	94.9
9月末	28,771	△ 0.1	3,898.26	3.4	95.3
10月末	28,136	△ 2.4	3,781.64	0.4	95.5
11月末	29,075	0.9	3,986.65	5.8	95.1
12月末	29,919	3.8	3,977.63	5.6	96.9
2024年 1月末	30,517	5.9	4,288.36	13.8	93.4
2月末	31,150	8.1	4,499.61	19.4	94.5
3月末	31,867	10.6	4,699.20	24.7	95.9
4月末	31,855	10.6	4,656.27	23.6	96.4
5月末	31,259	8.5	4,710.15	25.0	95.8
6月末	32,954	14.4	4,778.56	26.8	96.1
7月末	33,232	15.3	4,752.72	26.1	96.3
(期末) 2024年 8月26日	32,352	12.3	4,526.79	20.1	96.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2023年8月26日～2024年8月26日)



第11期首： 28,814円

第11期末： 32,352円(既払分配金0円)

騰落率： 12.3%(分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

※ 参考指数は期首(2023年8月25日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

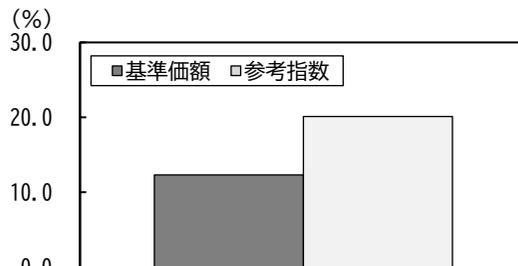
当ファンドは、スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、日本の株式に投資をしております。

マザーファンドは、ボトムアップ・リサーチを通じて、株価と実態価値が大幅に乖離(バリュージェット)していると判断される銘柄に絞り込んで投資をしました。当期は、ファインセラミックメーカーや、低価格飲料メーカーなどが業績を大きく拡大し、株式市場に好感されました。一方で、農薬大手メーカーや、売上(売掛)債権保証サービス企業などの株価が、株式市場の期待を下回った業績動向のために下落しました。当期の基準価額は市場全体を下回る結果となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



第11期
(2023/8/26 ~ 2024/8/26)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

当期の日本株式市場は、全体としては上昇基調となりました。

期初は、強い米国経済指標を背景とした米国長期金利の上昇、更に、パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織「ハマス」によるイスラエルへの攻撃を契機に中東情勢の緊迫化、原油高などが嫌気されました。その後、米国景気の沈静化を示す経済指標が続いたことから、FRB(米国連邦準備制度理事会)による追加利上げ観測が後退し、日本株式市場を下支えしました。

2024年に入ると、日本株式市場はデフレ脱却期待から大きく上昇しました。特に大型株は、海外投資家による資金流入の恩恵もあり堅調に推移しました。また、NVIDIA社(米国)などのハイテク株の上昇から、日本の半導体関連企業の株価も大きく上昇しました。

期末にかけては、日本株式市場は、ボラティリティの高い展開となりました。為替市場では日米金利差が意識され、一時ドル円レートが161円台まで円安が進み、自動車セクターなど為替恩恵銘柄を下支えしましたが、日本銀行による政策金利の引き上げ、米国の景気減速懸念を受け、日本株式市場は急落しました。その後、パニック的な投資家心理も落ち着きましたが、急落前を下回る水準で当期を終えました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・少数精鋭・日本株ファンド >

当ファンドは、主としてマザーファンドを通じて、日本の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本としています。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。

< スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド >

マザーファンドではボトムアップ・リサーチに基づき、逆張りの発想で、徹底した調査から、株価と実態価値が大幅に乖離(バリュウギャップ)している企業を中心に投資を行いました。

当期中に新規に組入れた主な銘柄は、

- ① 市場参加者が注目していないために株価が割安に放置されていた銘柄
具体的には、ハイテク用特殊化学メーカーである上村工業、システムインテグレーター大手のフューチャーなどが挙げられます。
- ② 短期的な業績不振など、市場に嫌気される要因があつて割安に放置されていた銘柄
具体的には、ネット証券大手のSBIホールディングス、医療関連データ分析大手のJMDCなどが挙げられます。

一方、売却した銘柄には

- ① 目標株価に到達した銘柄
具体的には、小型建機大手メーカーの竹内製作所、大手ゼネコンの安藤・間などが挙げられます。
- ② よりアップサイドが狙える企業へ入れ替えた銘柄
具体的には、お菓子メーカーの江崎グリコ、ハイテク特殊化学メーカーのフジミインコーポレーテッドなどが挙げられます。
- ③ 当初想定していたような業績拡大が見られなかった銘柄
具体的には、トレーディングカードゲーム大手のブシロード、通信計測機器メーカーのアンリツなどが挙げられます。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスにプラスに寄与した主な銘柄は、MARUWA、ライフドリンク カンパニーなどです。

MARUWAは、セラミック技術を軸にした、電子機器向け素材・部品メーカーです。ニッチな分野ですが高い世界シェアを持っています。当ファンドでは、様々な電子機器における放熱需要の増大に伴い、同社の業績拡大を期待し投資しております。当期、同社の株価はファンドのパフォーマンスに対してプラスに貢献しました。世界的にAI(人工知能)データセンターが増加し、同社の業績の追い風となっております。

ライフドリンク カンパニーは、小売向けPB(プライベートブランド)を中心とした、低価格ドリンクメーカーの大手です。生産アイテムを限定し、高い工場稼働率を維持することで低コスト生産を実現しています。当ファンドでは、インフレによる実質所得の低下、生活防衛意識の高まりが、同社への強い追い風になると判断しています。当期、同社の株価はファンドのパフォーマンスに対してプラスに貢献しました。低価格飲料に対する需要が拡大し、好決算が続いていることが背景と思われます。

〔主なマイナス要因〕

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、クミアイ化学工業、イー・ギャランティなどです。

クミアイ化学工業は国内農薬の大手企業です。当ファンドでは畑作向け除草剤の拡大を期待し投資しています。当期、同社株価はファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。同社農薬の市中在庫を減らす動きと、豪州での価格引き下げを背景に、同社決算が株式市場の期待を下回りました。

イー・ギャランティは、企業の売掛債権の保証業務を提供しています。当ファンドでは、コロナ禍の各種補助金が終了することによって経営不振に陥る企業が増加することで、売掛債権の保証ニーズが増えると判断しています。当期、同社株価はファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。企業倒産の拡大を受けて、高いリスクの業種に対する債権保証を一旦抑制した結果、同社決算が株式市場の期待を下回りました。

〔組入上位10銘柄〕

前期末(2023年8月25日)

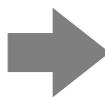
	銘柄名	比率(%)
1	MARUWA	9.2
2	東洋炭素	6.3
3	マックス	5.4
4	京成電鉄	5.3
5	トーセイ	4.6
6	メック	3.8
7	クミアイ化学工業	3.4
8	フジミインコーポレーテッド	3.4
9	ニチハ	3.3
10	全国保証	3.2

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

当期末(2024年8月26日)

	銘柄名	比率(%)
1	ライフドリンク カンパニー	9.0
2	MARUWA	7.4
3	マックス	5.7
4	トーセイ	5.6
5	東洋炭素	4.9
6	ニチハ	3.5
7	京成電鉄	3.5
8	山洋電気	3.5
9	メック	3.4
10	全国保証	3.3

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)



■ 今後の運用方針

< スパークス・少数精鋭・日本株ファンド >

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

< スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド >

日本には優れた製品やサービス、事業モデルを軸に、市場シェアトップ企業に成り得るにも関わらず、株式市場から注目されていない企業が多数存在しています。これらの企業は、長期にわたって成長し、同時に高い利益率を維持する可能性が高いにも関わらず、株価は将来を織り込めていないため割安となっています。長期に成長する企業を割安な株価で投資するには、株式市場から注目されていない企業、つまり株式市場のコンセンサスとは異なる視点が必要です。これを「逆張りの発想」と当ファンドでは呼んでいます。ボトムアップ・リサーチと逆張りの発想とによって、株式市場に注目されていない企業の中から、長期に成長が期待できる企業を発掘し、割安な株価で投資していきたいと思いません。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向等を勘案して、分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第11期 (2023年8月26日～ 2024年8月26日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22,352

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2023年8月26日～2024年8月26日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	627円 (339)	2.042% (1.104)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(271)	(0.883)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(17)	(0.055)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	13 (13)	0.042 (0.042)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) その他費用 (監査費用)	34 (5)	0.110 (0.016)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(29)	(0.094)	・法定書類等の作成、印刷費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	674	2.194	

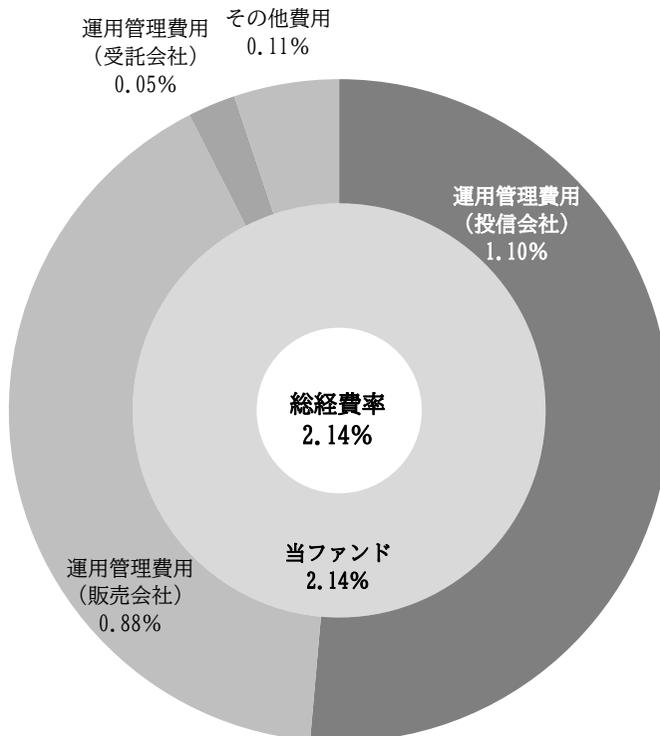
期中の平均基準価額は30,706円です。

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年8月26日から2024年8月26日まで）

項 目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	千口 15,712	千円 63,215	千口 37,136	千円 146,721

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,538,742千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,339,933千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.65

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 親投資信託における主要な売買銘柄（2023年8月26日から2024年8月26日まで）

株 式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
SBIホールディングス	18.7	74,911	4,005	MARUWA	4.3	144,216	33,538
共立メンテナンス	13.4	68,886	5,140	フジミインコーポレーテッド	27.4	89,291	3,258
上村工業	6.4	65,922	10,300	竹内製作所	17.5	88,434	5,053
ライフドリンク カンパニー	13.4	61,478	4,587	江崎グリコ	15.1	62,917	4,166
フューチャー	34.9	55,439	1,588	東洋炭素	7.7	52,846	6,863
ライト工業	26.2	52,468	2,002	マックス	12.2	43,443	3,560
リログループ	38.5	50,804	1,319	TOTO	10.1	39,048	3,866
横浜ゴム	12.4	48,359	3,899	京成電鉄	4.8	29,391	6,123
JMDC	8.7	33,018	3,795	オイシックス・ラ・大地	17.7	25,448	1,437
イー・ギャランティ	17.5	28,630	1,636	ブシロード	64.7	25,338	391

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2023年8月26日から2024年8月26日まで）

- (1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。
- (2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2023年8月26日から2024年8月26日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2023年8月26日から2024年8月26日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細（2024年8月26日現在）

親投資信託残高

項 目	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	161,753	140,328	599,765

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況（2024年8月26日現在）

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成（2024年8月26日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド	599,765	98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,140	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	608,905	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年8月26日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	608,905,186円
コール・ローン等	7,481,004
スパークス・少数精鋭・ 日本株マザーファンド(評価額)	599,765,957
未 収 入 金	1,658,203
未 収 利 息	22
(B)負 債	8,041,434
未 払 解 約 金	1,658,203
未 払 信 託 報 酬	6,056,002
そ の 他 未 払 費 用	327,229
(C)純 資 産 総 額(A-B)	600,863,752
元 本	185,726,674
次 期 繰 越 損 益 金	415,137,078
(D)受 益 権 総 口 数	185,726,674口
1万口当たり基準価額(C/D)	32,352円

■ 損益の状況

当期 (自2023年8月26日 至2024年8月26日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 722円
受 取 利 息	413
支 払 利 息	△ 1,135
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	74,349,426
売 買 益	82,034,209
売 買 損	△ 7,684,783
(C)信 託 報 酬 等	△ 12,718,404
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	61,630,300
(E)前 期 繰 越 損 益 金	121,275,562
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	232,231,216
(配 当 等 相 当 額)	(125,318,947)
(売 買 損 益 相 当 額)	(106,912,269)
(G)合 計(D+E+F)	415,137,078
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	415,137,078
追 加 信 託 差 損 益 金	232,231,216
(配 当 等 相 当 額)	(125,318,947)
(売 買 損 益 相 当 額)	(106,912,269)
分 配 準 備 積 立 金	182,906,584
繰 越 損 益 金	△ 722

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額	209,444,702円
期中追加設定元本額	20,220,344円
期中一部解約元本額	43,938,372円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 11 期
費用控除後の配当等収益額	A	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	61,629,278円
収益調整金額	C	232,230,494円
分配準備積立金額	D	121,277,306円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	415,137,078円
当ファンドの期末残存口数	F	185,726,674口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	22,352.04円
1万口当たり分配金額	H	-円
収益分配金金額 (I=G×H/10,000)	I	-円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	－円
----------------	----

■ お知らせ

該当事項はありません。

スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド

第 11 期

決算日 2024年8月26日

(計算期間：2023年8月26日～2024年8月26日)

「スパークス・少数精鋭・日本株マザーファンド」は、2024年8月26日に第11期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	①ベンチマークや業種にとらわれず、市場価値と独自の分析に基づく本質的な価値との乖離（以下「バリュギャップ」といいます。）が大きく、魅力的と判断したわが国の中小型株式銘柄群を中心に、20銘柄から40銘柄程度に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。また、株式市場の状況によって、大型銘柄により多くの投資機会があると判断される場合には、大型銘柄にも積極投資します。 ②株式への投資にあたっては、ボトムアップ・リサーチに基づき、各銘柄のバリュギャップを測定し、銘柄選定・ポートフォリオの構築を行い、長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。
主要投資対象	金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。ただし、株式以外の資産への投資割合は、原則として投資信託財産の50%以下とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		TOPIX (配当込み)		株式組入比率	純資産総額
	円	%	(参考指数)	期中騰落率		
7期(2020年8月25日)	24,635	17.3	2,514.26	12.8	96.3	2,653
8期(2021年8月25日)	33,129	34.5	3,058.62	21.7	94.6	2,706
9期(2022年8月25日)	32,002	△ 3.4	3,198.85	4.6	97.3	2,436
10期(2023年8月25日)	37,259	16.4	3,768.45	17.8	94.3	2,354
11期(2024年8月26日)	42,740	14.7	4,526.79	20.1	96.4	2,509

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込み)」です。

※ 東証株価指数 (TOPIX) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、J P X は TOPIX の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX の算出もしくは公表の停止または TOPIX の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

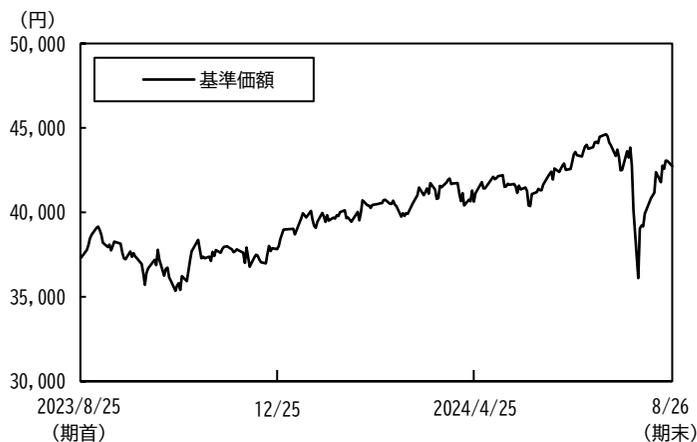
■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		TOPIX (配当込み)		株 式 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2023年 8月25日	37,259	—	3,768.45	—	94.3
8月末	38,468	3.2	3,878.51	2.9	95.0
9月末	37,281	0.1	3,898.26	3.4	95.2
10月末	36,527	△ 2.0	3,781.64	0.4	95.3
11月末	37,812	1.5	3,986.65	5.8	95.0
12月末	38,972	4.6	3,977.63	5.6	96.6
2024年 1月末	39,824	6.9	4,288.36	13.8	93.3
2月末	40,722	9.3	4,499.61	19.4	94.7
3月末	41,728	12.0	4,699.20	24.7	95.8
4月末	41,789	12.2	4,656.27	23.6	96.5
5月末	41,082	10.3	4,710.15	25.0	95.7
6月末	43,380	16.4	4,778.56	26.8	96.1
7月末	43,830	17.6	4,752.72	26.1	96.1
(期 末) 2024年 8月26日	42,740	14.7	4,526.79	20.1	96.4

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は42,740円となり、第11期の騰落率は14.7%となりました。



◆運用の詳細につきましては、3～7ページをご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2023年8月26日～2024年8月26日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	18円 (18)	0.045% (0.045)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(b) その他費用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	18	0.045	
期中の平均基準価額は40,118円です。			

(注1) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2023年8月26日から2024年8月26日まで)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	千株	千円	千株	千円
上 場	236 (9)	721,769 (-)	284 (-)	816,973 (-)

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,538,742千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,339,933千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.65

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 主要な売買銘柄 (2023年8月26日から2024年8月26日まで)

株 式

買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
SBIホールディングス	18.7	74,911	4,005	MARUWA	4.3	144,216	33,538
共立メンテナンス	13.4	68,886	5,140	フジインコーポレーテッド	27.4	89,291	3,258
上村工業	6.4	65,922	10,300	竹内製作所	17.5	88,434	5,053
ライフドリンク カンパニー	13.4	61,478	4,587	江崎グリコ	15.1	62,917	4,166
フューチャー	34.9	55,439	1,588	東洋炭素	7.7	52,846	6,863
ライト工業	26.2	52,468	2,002	マックス	12.2	43,443	3,560
リログループ	38.5	50,804	1,319	TOTO	10.1	39,048	3,866
横浜ゴム	12.4	48,359	3,899	京成電鉄	4.8	29,391	6,123
JMDC	8.7	33,018	3,795	オイシックス・ラ・大地	17.7	25,448	1,437
イー・ギャランティ	17.5	28,630	1,636	ブシロード	64.7	25,338	391

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年8月26日から2024年8月26日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2023年8月26日から2024年8月26日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2023年8月26日から2024年8月26日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2024年8月26日現在)

国内株式

銘柄	期首 (前期末)		当期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
建設業(2.3%)				
安藤・間	18.9	—	—	—
ライト工業	—	26.2	55,439	
食料品(9.3%)				
江崎グリコ	15.1	—	—	
ライフドリンクカンパニー	17.6	30.1	224,847	
化学(9.0%)				
上村工業	—	6.4	64,640	
メック	24.5	21.9	86,395	
クミアイ化学工業	75.1	59.3	45,661	
エフビコ	16.3	7.3	20,085	
ゴム製品(1.6%)				
横浜ゴム	—	12.4	39,642	
ガラス・土石製品(18.5%)				
神島化学工業	30.3	28.7	50,856	
東洋炭素	26	21.4	122,622	
TOTO	10.1	—	—	
MARUWA	8.4	4.9	184,730	
フジインコーポレーテッド	24.6	—	—	
ニチハ	24.5	25.4	88,773	
機械(8.4%)				
ダイフク	21.9	21.3	59,139	
竹内製作所	16.4	—	—	
マックス	48.1	40.7	143,874	
電気機器(3.6%)				
山洋電気	10.7	11.3	86,897	
アンリツ	10.1	—	—	
その他製品(1.7%)				
ブシロード	64.7	—	—	
パイロットコーポレーション	13.6	9.7	42,292	
陸運業(3.6%)				
京成電鉄	22.9	19.6	88,200	

銘柄	期首 (前期末)		当期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
情報・通信業(9.1%)				
メルカリ	18.2	20.1	46,209	
JMDC	—	8.7	36,766	
フューチャー	—	33.1	58,520	
テレビ東京ホールディングス	21.5	21	78,960	
卸売業(1.9%)				
シップヘルスケアホールディングス	27.6	21	45,433	
小売業(5.5%)				
ZOZO	12.1	11.9	55,834	
オイシックス・ラ・大地	17.7	—	—	
サイゼリヤ	15.8	15.4	77,308	
証券・商品先物取引業(2.8%)				
SBIホールディングス	—	18.7	66,572	
その他金融業(5.7%)				
全国保証	15	13.9	82,010	
イー・ギャランティ	24.4	40.2	56,722	
不動産業(5.9%)				
トーセイ	61.5	59.9	141,543	
サービス業(11.1%)				
ベイクレント・コンサルティング	12	15.4	67,251	
MS-Japan	25.6	23.6	24,284	
リログループ	—	38.5	70,974	
共立メンテナンス	—	22.1	53,194	
ダイセキ	12	14.1	53,016	
合計	株数・金額	763	724	2,418,698
	銘柄数<比率>	32銘柄	32銘柄	<96.4%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2024年8月26日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2024年8月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	2,418,698	96.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	92,410	3.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,511,108	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年8月26日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	2,511,108,480 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	90,209,159
株 式	2,418,698,550
未 収 配 当 金	2,200,500
未 収 利 息	271
(B)負 債	1,658,203
未 払 解 約 金	1,658,203
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	2,509,450,277
元 本	587,143,145
次 期 繰 越 損 益 金	1,922,307,132
(D)受 益 権 総 口 数	587,143,145 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	42,740 円

■ 損益の状況

当期 (自2023年8月26日 至2024年8月26日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	46,587,116 円
受 取 配 当 金	46,641,310
受 取 利 息	10,631
そ の 他 収 益 金	771
支 払 利 息	△ 65,596
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	292,428,134
売 買 益	439,584,486
売 買 損	△ 147,156,352
(C)信 託 報 酬 等	△ 311
(D)当 期 損 益 金 (A+B+C)	339,014,939
(E)前 期 繰 越 損 益 金	1,722,901,749
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	235,598,646
(G)解 約 差 損 益 金	△ 375,208,202
(H)合 計 (D+E+F+G)	1,922,307,132
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,922,307,132

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	632,040,222 円
期中追加設定元本額	79,616,692 円
期中一部解約元本額	124,513,769 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・少数精鋭・日本株ファンド	140,328,956 円
スパークス・少数精鋭・日本株・ベータヘッジファンド (適格機関投資家販売制限付)	354,828,811 円
スパークス・少数精鋭・日本株ファンド2211 適格機関投資家限定	91,985,378 円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

該当事項はありません。